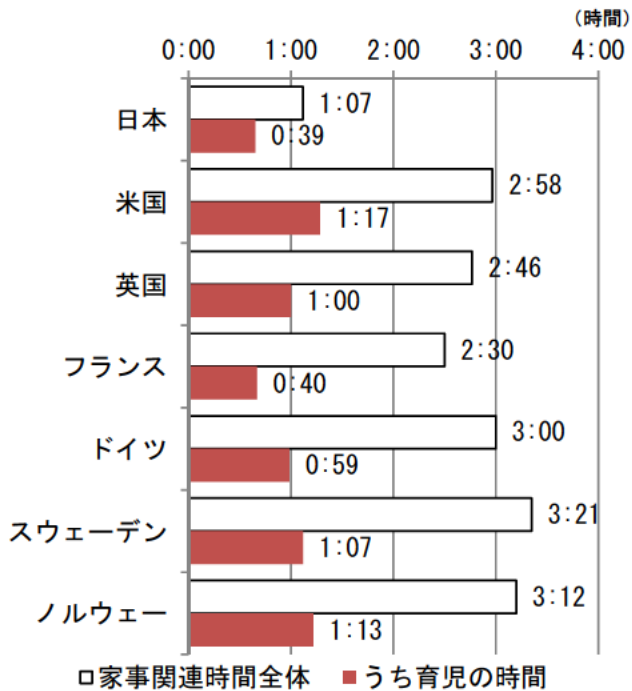


女性の継続就業・出産と、男性の家事・育児参加の関係

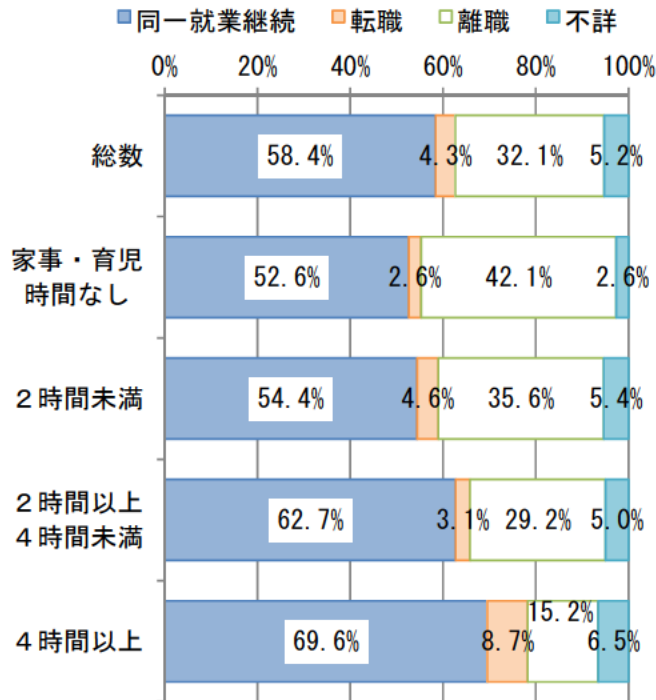
■ 日本の夫(6歳未満の子どもを持つ場合)の家事・育児関連時間は、1時間程度と国際的にみて低水準
 ■ 夫の家事・育児時間が長いほど、妻の継続就業割合が高く、また第2子以降の出生割合も高い傾向にある。

【6歳未満児のいる夫の家事・育児関連時間(1日当たり)】



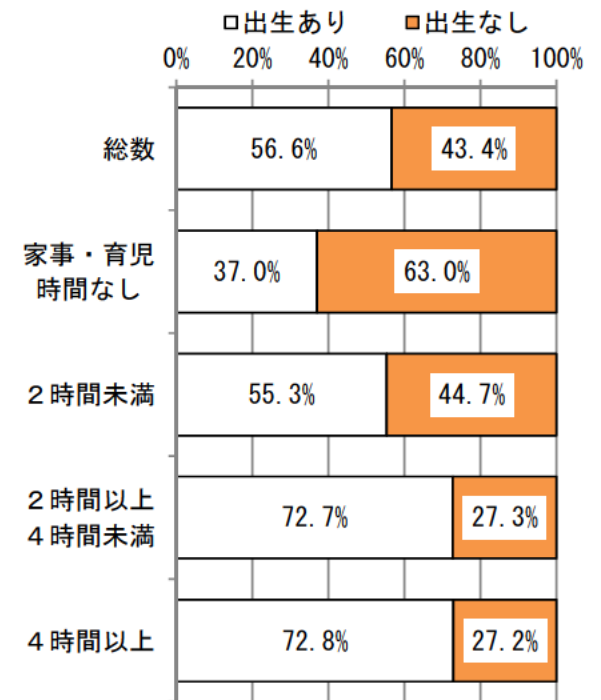
(資料出所) 平成27年版男女共同参画白書
 (備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey Summary" (2013) 及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。
 2. 日本の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の時間である。

【夫の平日の家事・育児時間別に見た妻の出産前後の継続就業割合】



(資料出所) 厚生労働省「第12回21世紀成年者縦断調査」(2013年)
 注:
 1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当するこの11年間に子どもが生まれた同居夫婦である。
 ①第1回から第12回まで双方が回答した夫婦
 ②第1回に独身で第11回までの間に結婚し、結婚後第12回まで双方が回答した夫婦
 ③妻が出産前に仕事ありで、かつ、「女性票」の対象者である
 2) 11年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 3) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。

【夫の平日の家事・育児時間別に見た第2子以降の出生割合】



資料出所: 厚生労働省「第12回21世紀成年者縦断調査」(2013年)
 注:
 1) 集計対象は、①または②に該当し、かつ③に該当する同居夫婦である。ただし、妻の「出生前データ」が得られていない夫婦は除く。
 ①第1回調査から第12回調査まで双方から回答を得られている夫婦
 ②第1回調査時に独身で第11回調査までの間に結婚し、結婚後第12回調査まで双方から回答を得られている夫婦
 ③出生前調査時に子ども1人以上ありの夫婦
 2) 家事・育児時間は、「出生あり」は出生前調査時の、「出生なし」は第11回調査時の状況である。
 3) 11年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。
 4) 総数には、家事・育児時間不詳を含む。